

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月31日

上場会社名 東洋機械金属株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6210 URL <http://www.toyo-mm.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田畑 禎章
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 酒井 雅人 (TEL) (078) 942-2345
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	26,042	8.2	913	△31.9	1,090	△26.0	586	△35.3
2022年3月期第3四半期	24,074	43.8	1,341	—	1,475	—	907	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,255百万円 (4.9%) 2022年3月期第3四半期 1,196百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	28.59	—
2022年3月期第3四半期	44.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	31,414	20,221	63.2
2022年3月期	31,133	19,627	62.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 19,862百万円 2022年3月期 19,325百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	7.50	—	17.50	25.00
2023年3月期	—	15.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,300	0.1	740	△58.0	960	△51.3	620	△51.4	30.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
新規 - 社（社名）、除外 - 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	20,703,000株	2022年3月期	20,703,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	177,429株	2022年3月期	189,030株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	20,520,966株	2022年3月期3Q	20,540,758株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予測などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和が進み、経済活動が正常化に向かい、景気は緩やかに持ち直しの動きが見られたものの、原材料・エネルギー価格の高騰や急速な円安進行による為替動向の懸念、物価上昇など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。世界経済につきましても、ウクライナ情勢の長期化や中国のコロナ感染者の急増による景気への影響、資源高・物流停滞・円安等の複合的な要因から物価が上昇しており、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの事業に関連する市場におきましては、中国の新型コロナウイルス感染症の再拡大と厳しい感染封じ込めの影響を受けたものの、業界の設備投資意欲は、国内・海外共に回復しており、需要は堅調に推移しております。しかし、急激な原材料やエネルギー価格の上昇などがコスト面で不安定な状況となりました。このような市場環境のもと、当社グループは、2024年3月期を最終年度とする第3期中期経営計画に基づいた事業活動を推進し、中長期的な視点から持続的な成長と安定した収益確保に向けて取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は25,321百万円(前年同四半期比7.5%減)、売上高は26,042百万円(同8.2%増)となりました。このうち、国内売上高は6,475百万円(同17.5%増)、海外売上高は19,566百万円(同5.4%増)となり、海外比率は75.1%となりました。利益につきましては、主要部材の仕入価格高騰の影響を受け、営業利益は913百万円(前年同四半期比31.9%減)、経常利益は1,090百万円(同26.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は586百万円(同35.3%減)となりました。

製品別の売上の状況は、以下の通りです。

[射出成形機]

射出成形機につきましては、受注は国内、海外共に減少しましたが、売上は国内では、自動車や工業部品関連、日用雑貨や容器類などの生活用品関連が増加しました。海外におきましては、中国でのIT電子機器や医療機器関連の小型機が減少しましたが、アジアの自動車関連や米国や欧州における生活用品関連の中大型機が増加しました。この結果、受注高は19,788百万円(前年同四半期比2.6%減)、売上高は20,353百万円(同9.8%増)となりました。このうち、海外売上高は15,246百万円(同5.5%増)となり、海外比率は74.9%となりました。

[ダイカストマシン]

ダイカストマシンにつきましては、受注は国内、海外共に減少しました。売上は国内では、自動車関連が微減となりました。海外におきましては、中国や東アジアの自動車関連が増加しました。この結果、受注高は5,533百万円(前年同四半期比21.5%減)、売上高は5,688百万円(同2.8%増)となりました。このうち、海外売上高は4,319百万円(同5.0%増)となり、海外比率は75.9%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて633百万円増加しました。これは、主に現金及び預金の減少510百万円及び売上債権の減少185百万円があったものの、棚卸資産の増加1,337百万円があったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて353百万円減少しました。これは、主に繰延税金資産の減少234百万円及び有形固定資産の減少68百万円があったことによるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて42百万円減少しました。これは、主に仕入債務の増加342百万円があったものの、未払費用の減少200百万円及び未払法人税等の減少144百万円があったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて271百万円減少しました。これは、主に長期借入金から1年内返済予定の長期借入金への振替による減少160百万円及び退職給付に係る負債の減少117百万円があったことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて594百万円増加しました。これは、主に配当を行ったことによる利益剰余金の減少666百万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加586百万円及び為替換算調整勘定の増加588百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、2022年10月26日に公表した予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,143	6,633
受取手形及び売掛金	5,275	5,218
電子記録債権	2,171	2,042
商品及び製品	2,917	3,577
仕掛品	2,926	3,457
原材料及び貯蔵品	777	924
その他	1,448	1,437
貸倒引当金	△8	△6
流動資産合計	22,651	23,285
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,999	3,907
機械装置及び運搬具(純額)	1,564	1,323
工具、器具及び備品(純額)	94	102
土地	780	780
リース資産(純額)	11	12
建設仮勘定	111	367
有形固定資産合計	6,561	6,493
無形固定資産	507	461
投資その他の資産		
投資有価証券	980	957
繰延税金資産	385	150
その他	47	65
貸倒引当金	—	△0
投資その他の資産合計	1,412	1,174
固定資産合計	8,482	8,128
資産合計	31,133	31,414

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,868	3,985
電子記録債務	1,028	1,254
短期借入金	1,100	1,100
1年内返済予定の長期借入金	200	200
未払費用	712	511
未払法人税等	215	71
未払消費税等	40	5
製品保証引当金	60	64
役員賞与引当金	20	9
その他	1,556	1,558
流動負債合計	8,803	8,760
固定負債		
長期借入金	460	300
退職給付に係る負債	2,221	2,104
役員株式給付引当金	4	8
その他	17	18
固定負債合計	2,703	2,431
負債合計	11,506	11,192
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,506	2,506
資本剰余金	2,385	2,389
利益剰余金	13,953	13,873
自己株式	△36	△34
株主資本合計	18,809	18,735
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95	110
繰延ヘッジ損益	△0	4
為替換算調整勘定	388	976
退職給付に係る調整累計額	32	36
その他の包括利益累計額合計	516	1,127
非支配株主持分	301	359
純資産合計	19,627	20,221
負債純資産合計	31,133	31,414

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	24,074	26,042
売上原価	18,794	20,890
売上総利益	5,279	5,152
販売費及び一般管理費	3,938	4,238
営業利益	1,341	913
営業外収益		
受取利息及び配当金	21	18
固定資産賃貸料	50	51
助成金収入	0	3
為替差益	84	79
持分法による投資利益	—	23
その他	14	26
営業外収益合計	171	202
営業外費用		
支払利息	4	3
支払手数料	1	1
固定資産賃貸費用	6	6
持分法による投資損失	20	—
その他	4	13
営業外費用合計	37	25
経常利益	1,475	1,090
税金等調整前四半期純利益	1,475	1,090
法人税、住民税及び事業税	356	263
法人税等調整額	196	215
法人税等合計	553	479
四半期純利益	921	611
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	24
親会社株主に帰属する四半期純利益	907	586

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	921	611
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26	14
繰延ヘッジ損益	10	4
為替換算調整勘定	219	578
退職給付に係る調整額	5	4
持分法適用会社に対する持分相当額	12	41
その他の包括利益合計	274	643
四半期包括利益	1,196	1,255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,192	1,197
非支配株主に係る四半期包括利益	3	57

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。